# 12月13日 (木) 第1会場 (南館 4F 扇)

## 8:55-9:00 開会式

9:00-10:00 シンポジウム 1-1「がん局所微小環境の解析と制御(1)」
座長:柴田 昌彦(福島県立医科大学 先端癌免疫治療研究講座) 河野 浩二(福島県立医科大学 消化管外科学講座)
S1-1-1 <b>胃癌微小環境における PD-L1/PD-L2 の発現機構について</b>
S1-1-2 <b>乳癌微小環境における PD-L1 の発現機構</b> 40 中山 裕子 <sup>1,4</sup> 、三村 耕作 <sup>1,2,3</sup> 、中澤 匡男 <sup>5)</sup> 、白石 謙介 <sup>4)</sup> 、井上 正行 <sup>6)</sup> 、門馬 智之 <sup>1)</sup> 、佐瀬 善一郎 <sup>1)</sup> 、大木 進司 <sup>1)</sup> 、井上 慎吾 <sup>4)</sup> 、市川 大輔 <sup>4)</sup> 、河野 浩二 <sup>1)</sup> 福島県立医科大学 消化管外科学講座 <sup>2)</sup> 福島県立医科大学 先端癌免疫治療学講座 <sup>3)</sup> 福島県立医科大学 プログレッシブ DOHaD 研究講座 <sup>4)</sup> 山梨大学医学部 外科学講座第一教室 <sup>5)</sup> 山梨大学医学部 人体病理学 <sup>6)</sup> 山梨県立中央病院 乳腺外科
S1-1-3 低酸素環境下の肺小細胞癌における足場蛋白質 Liprina4の役割に関する検討
S1-1-4 原発性大腸癌と転移リンパ節における間質線維化の臨床的意義
S1-1-5 <b>胃癌患者における制御性 B リンパ球の検討</b>
10:05-10:53 シンポジウム 1-2「がん局所微小環境の解析と制御(2)」
座長:大平 雅一(大阪市立大学 消化器外科) 杉山 保幸(岐阜市民病院 外科)
S1-2-1 非小細胞肺癌における末梢血リンパ球と腫瘍浸潤リンパ球での抑制系共分子発現の比較
S1-2-2 <b>非小細胞肺癌における</b> β-catenin の発現と樹状細胞・腫瘍浸潤リンパ球との関係
S1-2-3 術前化学療法による食道癌 DC 成熟化の誘導

S1-2-4	大腸癌にお	ナる腫瘍浸潤リンパ塚と末梢皿中サイトカインの関係44	ļ
	山本 常則1)、	硲 彰一1.2)、鈴木 伸明り、中島 正夫り、松井 洋人り、徳光 幸生り、兼清 信介り、友近 忍り、吉田 晋り、	
	飯田 通久1)、	武田 茂1)、山本 滋1)、吉野 茂文1.3)、藤田 知信4、河上 裕4、永野 浩昭1)	

- 1) 山口大学大学院 消化器・腫瘍外科学
- 2) 山口大学医学部 先端がん治療開発学
- 3) 山口大学附属病院 腫瘍センター
- 4) 慶應義塾大学医学部 先端医科学研究所 細胞情報研究部門

#### 11:00-11:55 特別講演「腸内細菌と免疫疾患との連関」

座長: 奥野 清隆(近畿大学医学部 外科学教室)

金井 隆典

慶應義塾大学医学部 内科学(消化器)

共催:ミヤリサン製薬株式会社

#### 12:05-12:55 ランチョンセミナー1

「胃癌に対するニボルマブの有用性〜 ATTRACTION-2 試験の長期フォローアップデータを踏まえて〜」

座長:藤原 俊義 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 消化器外科学)

胃癌に対するニボルマブの有用性~ ATTRACTION-2 試験の長期フォローアップデータを踏まえて~ 佐藤 太郎

大阪大学大学院医学系研究科 先進癌薬物療法開発学寄附講座

共催:小野薬品工業株式会社/ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

#### 13:35-14:25 パネルディスカッション 1「免疫チェックポイント阻害剤の現状と展望」

座長:鈴木 弘行(福島県立医科大学 呼吸器外科学) 平家 勇司(聖路加国際病院 免疫・細胞治療科)

- - 1) 大阪がん免疫化学療法クリニック
  - ② 大阪がんクリニック
  - 3) 大阪大学大学院医学系研究科 分子病理学
  - 4) 大阪大学大学院医学系研究科 消化器外科学
- PD1-4 水素ガスは nivolumab の効果を増強させる可能性 49 赤木 純児

独立行政法人 くまもと県北病院機構玉名地域保健医療センター

- - 1) 九州大学大学院 医学研究院 腫瘍制御学
  - 2) 九州大学病院 先端分子細胞治療科
  - 3) 九州大学大学院 医学研究院 臨床・腫瘍外科

	座長:森 止樹(九州大字大字院 消化器・総合外科) 角田 卓也(昭和大学病院 腫瘍内科)
S2-1	免疫チェックポイント阻害剤使用患者における蛍光ナノ粒子 (PID) を用いた定量的 PD-L1 発現の解析及び有効症例の検討44和田 聡 1.2)、濱田 和幸 2)、久保田 祐太郎 2)、石田 博雄 2、佐藤 悦子 2)、有泉 裕嗣 2)、平澤 優弥 2)、大熊 遼太郎 2)、吉村 清 2.3)、鶴谷 純司 2.4)、瀬戸川 健 9、高橋 優 9、岡田 尚大 5、角田 卓也 2)1) 昭和大学臨床薬理研究所 臨床腫瘍診断学2) 昭和大学医学部 内科学講座 腫瘍内科3) 昭和大学臨床薬理研究所 臨床免疫腫瘍学4) 昭和大学 先端がん治療研究所5) コニカミノルタ株式会社
S2-2	気管支喘息発作を伴う checkpoint inhibitor 著効例を中心とした immune-related adverse events の解析と考察 45 濱田 和幸 い、吉村 清 1-2、大熊 遼太朗 い、有泉 裕嗣 い、石田 博雄 い、久保田 祐太郎 い、佐藤 悦子 い、平澤 優弥 い、鶴谷 純司 1-4、和田 聡 1-3、角田 卓也 いい 昭和大学 医学部 内科学講座 腫瘍内科学部門20 昭和大学 臨床薬理研究所 臨床免疫腫瘍学講座 18 昭和大学 臨床薬理研究所 臨床免疫腫瘍診断学講座 18 昭和大学 先端がん治療研究所
S2-3	食道がん手術患者における腸内細菌フローラの解析と免疫学的アプローチへの応用
S2-4	Tumor Mutation burden は肺癌の予後因子となり得るか
S2-5	PD-1/PD-L1 阻害薬で治療された非小細胞肺癌症例における効果予測因子としての iSEND モデルの有用性 (国際多施設共同研究)
S2-6	進行食道癌における血中遊離免疫疲弊マーカーの臨床的意義 47 吉田 寿一郎、石川 剛、土井 俊文、太田 崇之、安田 知代、岡 要、岡山 哲也、坂元 直行、土肥 統、吉田 直久、 鎌田 和浩、内山 和彦、高木 智久、小西 英幸、内藤 裕二、伊藤 義人 京都府立医科大学 消化器内科
S2-7	C.elegans による癌スクリーニング検査の遺伝子改変マウスへの応用       47         植田 裕司 1,2.3)、今野 雅允 3)、川本 弘一 1,2.3)、野口 幸藏 1)、佐藤 太郎 3)、江口 英利 1)、土岐 祐一郎 1)、森 正樹 1)、         石井 秀始 2)         1) 大阪大学 医学部 医学系研究科 疾患データサイエンス学 3) 大阪大学 医学部 医学系研究科 先進癌薬物開発学

シンポジウム 2「Biotherapy のバイオマーカー」

14:30-15:54

16:00	0-17:00	特別シンポジウム「Precision Biotherapy の未来」	
		座長:玉田 耕治(山口大学大学院医学系研究科 免疫学講座) 硲 彰一(山口大学医学部 先端がん治療開発学)	
SS-1	清谷 一馬	からのネオアンチゲン予測アルゴリズム開発および特異的 T 細胞の誘導 がんプレシジョン医療研究センター 免疫ゲノム医療開発プロジェクト	38
SS-2		デンを標的とした膵癌に対する新規免疫療法の開発	38
	吉田 晋 <sup>1)</sup> 、飯 <sup>1)</sup> 山口大学大学 <sup>2)</sup> 山口大学医学 <sup>3)</sup> 山口大学附属 <sup>4)</sup> 福岡がん総合	学大学院 消化器・腫瘍外科	
SS-3	尾島 敏康、岩山上 裕機	<b>E樹状細胞を用いたテーラーメード癌ワクチン療法の現状と未来</b>	
SS-4	IL-7 および C 安達 ま志 玉	CCL19 を産生する CAR-T 細胞による固形がん治療効果の検討 FEIT 耕治	39

#### 17:10-18:00 イブニングセミナー「悪性腫瘍に対するウイルス療法の現状」

座長:清谷 一馬

(公益財団法人がん研究会 がんプレシジョン医療研究センター 免疫ゲノム解析グループ)

#### 悪性腫瘍に対するウイルス療法の現状

山口大学大学院 医学系研究科 免疫学講座

谷 憲三朗

東京大学医科学研究所 ALA 先端医療学社会連携研究部門

共催:オンコセラピー・サイエンス株式会社

# 12月13日 (木) 第2会場(南館3F グレースルーム)

9:00-	-9:54 要	要望演題 1-1	「効果・予後予測	因子一大腸癌	・化学療法一」			
	E		彦(埼玉県済生会 明(大阪市立大学					
R1-1-1	吉松 和彦 1.2)、	<b>佐竹 昌也</b> 1.2)、 訓川 武2)、勝部 栗橋病院 外科		冓 肇 º)、岡山 幸				55
R1-1-2	中上 裕有樹 1.21 恒富 亮一2、前 永田 直幹9、方 11 山口大学 医5 21 山口大学大学 31 高知大学医学 40 愛知医科大学 51 東京大学大学 61 山口大学医学	、 いました。 では、 いまない はいます はいます はいます はいます かいます かいます かいます かいます かいます かいます かいます か	センター 科 公共健康医学	晋 <sup>21</sup> 、 <b>友近 忍<sup>21</sup>幸治<sup>51</sup>、岡山 直</b> 外科学 専攻 生物統計等	》、兼清 信介 <sup>2</sup> 、 子 <sup>6</sup> 、末広 寛 <sup>7</sup>	松井 洋人2)、新	T藤 芳太郎 2)、中島	島正夫 <sup>2)</sup> 、
R1-1-3	大腸癌化学療 徳永 行彦 京都逓信病院		や予後予測の検言	寸:代謝酵素の	発現と感受性	試験を用いて		56
R1-1-4		召 久恵、田村 公田 圭二、橋	グマーカーとして 純子、大野 航平、 コ 陽二郎					
R1-1-5	渋谷 雅常 1)、永	k原 央 <sup>1)</sup> 、福岡 豊川 貴弘 <sup>1)</sup> 、 大学院 消化器		二1)、松谷 慎治	1)、王恩1)、田	村 達郎 ¹)、大平	豪"、山添 定明	
R1-1-6	松谷 慎治10、2	を合 雅常 <sup>1)</sup> 、前 た 定明 <sup>4)</sup> 、木村 大学院 消化 医療センター 大学院 乳腺内	消化器外科 分泌外科学	"、福岡 達成"、	井関康仁1)、	王 恩 1)、柏木 個	一郎3、田村 達度	

10:00	)-10:54 要望演題 1-2「効果・予後予測因子-食道癌・その他-」
	座長:松原 久裕(千葉大学大学院医学研究院 先端応用外科学) 櫻井 健一(日本大学医学部 外科学系 乳腺内分泌外科学分野)
R1-2-1	手術治療を拒否した局所進行甲状腺乳頭癌症例におけるレンバチニブ使用経過と Indoleamine 2,3-dioxygenase の発現について 58 櫻井 健一 1.2、安達 慶太 1.2、窪田 仁美 1.2、鈴木 佑奈 1)、鈴木 周平 1.2、原 由起子 1.2)、榎本 克久 1)、平野 智寛 1)、藤崎 滋 2.3)、富田 凉一 2.3  1) 日本大学 医学部 外科学系 乳腺内分泌外科学分野 2) 医療法人社団 藤崎病院 外科 3) 日本歯科大学 外科学講座
R1-2-2	胆道癌における肝切除を伴う外科的切除術後白血球数と予後の関わり
R1-2-3	非小細胞肺癌切除例における NK 細胞活性化リガンド発現の意義 59 沖田 理貴 1.2、中田 昌男 2 1 国立病院機構山口宇部医療センター 呼吸器外科 2 川崎医科大学 呼吸器外科学
R1-2-4	食道扁平上皮癌における CARD9 の臨床病理学的検討 59 関野 伸史、加野 将之、坂田 治人、村上 健太郎、豊住 武司、横山 将也、白石 匡、岡田 晃一郎、鎌田 敏希、 龍崎 貴寛、松原 久裕 千葉大学大学院 医学研究院 先端応用外科学
R1-2-5	腫瘍微小環境での PD-L1 と PD-L2 の抗腫瘍免疫抑制機能についての検討
R1-2-6	肺癌・悪性胸膜中皮腫マウスモデルを用いた免疫チェックポイント阻害薬と化学療法の併用効果に関する 検討

#### 13:00-13:30 評議員会

#### 13:35-14:15 一般演題 1「臨床症例」

座長:吉村 清(昭和大学臨床薬理研究所臨床免疫腫瘍学講座) 竹之山 光広(九州がんセンター 呼吸器腫瘍科)

01-1	進行再発非小細胞肺癌に対する Pembrolizumab 投与症例に対する効果予測因子の検討 ―栄養指標に着目して―			
	大場 太郎、梅山 泰裕、高森 新吉、原武 直紀、野崎 要、三浦 奈央子、山口 正史、瀬戸 貴司、一瀬 幸人、竹之山 光広 九州がんセンター 呼吸器腫瘍科			
01-2	泌尿器癌における免疫チェックポイント阻害薬の初期治療成績 野澤 昌弘、浜口 守、國重 玲紋、豊田 信吾、橋本 士、菊池 尭、西本 光寿、大關 孝之、清水 信貴、森 康範、南 飛 能勢 和宏、吉村 一宏、植村 天受 近畿大学 医学部 泌尿器科			

O1-3EGFR-TKI により EGFR 遺伝子変異が消失し PD-1 阻害療法で Pseudo-progression を伴う急激な奏功を認めた一例た一例山浦 匠、尾崎 有紀、井上 卓哉、福原 光朗、武藤 哲史、岡部 直行、長谷川 剛生、塩 豊、鈴木 弘行

福島県立医科大学 医学部 呼吸器外科

01-4	抗 PD-1 抗体耐性の進行・再発非小細胞肺がんに対する抗 PD-L1 抗体の臨床的有効性の検討
01-5	手術療法とのコンビネーションで成功した活性化リンパ球継続輸注による子宮肉腫の長期生存例

# 14:20-15:08 一般演題 2「分子細胞解析」

	座長:永野 浩昭(山口大学大学院 消化器・腫瘍外科学) 谷 眞至(滋賀医科大学 外科学講座)
02-1	合成 miR-143 の HER2 陽性胃癌に対する細胞増殖抑制効果 72 徳丸 剛久、松橋 延壽、二村 学、山口 和也、吉田 和弘 岐阜大学 医学部 腫瘍外科
02-2	胃癌内 TLS(Tertiary Lymphoid Structure)における B 細胞の機能
02-3	LRP1B 細胞内領域の核移行による乳癌進行メカニズムの解明         その制御に向けての基礎的研究         73           浅野 好美 n、二村 学 n、森 龍太郎 n、竹内 保 n、吉田 和弘 n ti 岐阜大学 医学部 腫瘍外科 n 岐阜大学 医学部 形態機能病理         2 岐阜大学 医学部 形態機能病理
02-4	StageII 大腸癌における予後因子の検討-RAS/BRAF 遺伝子変異並びに腫瘍浸潤リンパ球の解析から
02-5	大腸癌における PLXND1 の EMT との関連
02-6	胆嚢癌における非古典的 Hedgehog(Hh)シグナル経路: GLI2-Hh シグナル経路の生物学的意義の解析75 一宮 脩 1.4)、大西 秀哉 1、松下 章次郎 2、中山 和典 1、大山 康博 11、藤村 晶子 11、今泉 晃 3、中村 雅史 41 11 九州大学大学院医学研究院 先端医療医学部門 腫瘍制御学分野 21 大阪回生病院 外科

	j	

15:1	2-16:00 一般演題 3  治療開発評価]
	座長:原 勲(和歌山県立医科大学 泌尿器科) 鈴木 伸明(山口大学大学院 消化器・腫瘍外科学)
03-1	大腸癌ペプチドワクチン療法における効果予測マーカーとしての Sonic hedgehog の検討
03-2	<b>癌幹細胞抗原 DNAJB8 由来抗原ペプチドの同定</b> 西澤 哲、若宮 崇人、吉川 和朗、柑本 康夫、原 勲 和歌山県立医科大学 医学部 泌尿器科
03-3	グリオーマ幹細胞モデルに対する PD-L1 抗体 + マクロファージ阻害剤併用療法の検討
03-4	XCL1 産生腫瘍細胞ワクチンによる抗腫瘍効果の検討
03-5	食道癌薬物治療における PRO での症状有害事象経時的評価の有用性

1) 東京女子医科大学 消化器・一般外科2) 東京女子医科大学 先端生命医科学研究所3) 東京女子医科大学 遺伝子医療センター

矢川 陽介  $^{1}$ 、有賀  $^{2}$ 、山本 俊至  $^{3}$ 、成宮 孝祐  $^{1}$ 、工藤 健司  $^{1}$ 、前田 新介  $^{1}$ 、豊島 幸憲  $^{1}$ 、大杉 治司  $^{1}$ 、山本 雅一  $^{1}$ 

## 12月14日(金) 第1会場(南館4F扇)

	9:00-	11:05	日本バイオセラピ 「がんゲノム情報						
			座長:藤原 俊義 松下 博和					ーショナルリサーチ分里	纾)
J		西尾 和人	<b>医療の現状と今後、</b> 部ゲノム生物学	免疫療法への応	用			3	32
J			福島 亮治、橋口 陽二					3	33
J		硲 彰一	情報と癌ワクチン療部先端がん治療開発等					3	34
J		松下 博和	<b>ケンサーを活用した</b> ンター研究所 腫瘍タ				चं	3	}5
J		金関 貴幸	ノミクスによる HLA 病理学第一講座	₹ 提示ネオアンラ	チゲン解析			共催:小林製薬株式会	
	11:10	)-11:50	会長講演「自己がん	υ抗原特異的 Pre	cision Immu	ınotherapy	/ の探求-今日ま	で、そして明日から一」	
			座長:山口 佳之	(川崎医科大学	臨床腫瘍学)				
		有賀 淳	京特異的 Precision 大学 先端生命医科学		py の探求- <sup>:</sup>	今日まで、	そして明日から	<b>—</b>	30

#### 12:00-12:50 ランチョンセミナー 2

「免疫放射線治療(Immuno-Radiotherapy)の理論的背景と現状・未来」

座長:鈴木 弘行(福島県立医科大学医学部 呼吸器外科学講座)

免疫放射線治療(Immuno-Radiotherapy)の理論的背景と現状・未来 鈴木 義行

福島県立医科大学医学部 放射線腫瘍学講座

共催:アストラゼネカ株式会社

#### 13:00-13:20 総会

13:3	0-14:00	パネルディスカッション 2 「がんの分子機構解明と治療応用 」	
		座長:大西秀哉(九州大学 腫瘍制御学分野)	
PD2-1	中村 勝也 1.2)、1) 九州大学 图 2) 独立行政法。	5神経栄養因子受容体 TrkB の治療標的としての可能性の検討	50
PD2-2		E-7757F3 F1 3	51
PD2-3	中山 和典 1)、	的とした新規免疫治療の開発:リンパ球における CD3-PTPN3 活性化経路解析 大西 秀哉 º、一宮 脩 º、大山 康博 º、藤村 晶子 º、川元 真 º、今泉 晃 º、中村 雅史 º 医学研究院 腫瘍制御学分野 団 珠光会	51
14:0	5-14:41	要望演題 1-3「効果・予後予測因子—マイクロ RNA ー」	
		座長:飯沼 久惠(帝京大学医学部 外科)	
R1-3-1	赤澤 悠 1.2)、 10 国立研究開発 20 福井大学医学 31 国立研究開発 31 国立研究開発 31 国立研究開発 31 国立研究開発 31 第 32 第	長者における再発および予後予測マーカーとしての血清 miRNA の有用性	61
R1-3-2		DCIS と IDC に関連する血漿エクソソーム microRNA 版沼 久恵、吉川 三緒、梅本 靖子、柳澤 貴子、松本 暁子、神野 浩光 <sup>学部</sup> 外科	61
R1-3-3		予測マーカーとしての門脈血血漿エクソソーム内包 microRNA の有用性 版沼 久恵、田村 純子、高橋 邦彦、峯岸 俊亮、貝沼 雅彦、池田 豊、澁谷 誠、和田 慶太、三浦 文彦、 学部 外科	62
R1-3-4	添田 成美、飢	後予測マーカーとしての血漿エクソソーム microRNA の有用性	62

14:4	5-15:30 ワークショップ「がんワクチン」					
	座長:岡本 正人(大阪大学大学院薬学研究科 先端免疫治療学) 中面 哲也(国立がん研究センター 先端医療開発センター 免疫療法開発分野)					
W-1	glypican-3 ペプチドワクチンは肝細胞癌術後補助療法として有用な可能性がある					
W-2	進行膵癌に対する S-1 併用樹状細胞ワクチン療法の医師主導治験					
W-3	消化器癌に対する新規複合免疫・ペプチドワクチン療法における細胞性免疫の解析					
W-4	樹状細胞サブセットへの送達に注目したがんペプチドワクチン療法 53 水本 有紀 <sup>1)</sup> 、勝田 将裕 <sup>1)</sup> 、邊見 弘明 <sup>2)</sup> 、宮澤 基樹 <sup>1)</sup> 、北畑 裕司 <sup>1)</sup> 、宮本 篤 <sup>1)</sup> 、小林 良平 <sup>1)</sup> 、中森 幹人 <sup>1)</sup> 、尾島 敏康 <sup>1)</sup> 、松田 健司 <sup>1)</sup> 、中村 公紀 <sup>1)</sup> 、早田 啓治 <sup>1)</sup> 、玉田 耕治 <sup>3)</sup> 、改正 恒康 <sup>2)</sup> 、山上 裕機 <sup>1)</sup> 1 和歌山県立医科大学 第 2 外科 2 和歌山県立医科大学 先端医学研究所 生体調節機構研究部 3 山□大学医学部大学院医学系研究科 免疫学					
W-5	<b>膵癌に対する癌ワクチンを用いた医師主導治験</b> 宮澤 基樹、勝田 将裕、川井 学、廣野 誠子、岡田 健一、北畑 裕司、小林 良平、水本 有紀、宮本 篤、山上 裕機 和歌山県立医科大学 第2外科					
15:3	5-16:20 厚生労働省がん政策研究事業「科学的根拠に基づいたがん免疫療法の評価と Publicity」					
	座長:有賀 淳(東京女子医科大学 先端生命医科学研究所) 丸野 正敬 厚生労働省健康局 がん・疾病対策課 河野 浩二					
	福島県立医科大学 消化管外科学講座					
	厚生労働省科学研究費 がん対策推進総合研究事業 (30050301) 「科学的根拠に基づいたがん免疫療法の評価と Publicity」の進捗報告					

## 16:20-16:25 閉会式

### 12月14日(金) 第2会場(南館3F グレースルーム)

3:30-14:06	車団溶頭つ	「ウイルス療法・	"旦勒"庭注。	,半色远痿注
.5:.5U-14:UD	<b>芳</b> 宝油跟 /	コリイ ルノス俗法・	一声到借法。	九光光线推

座長:武田 力(大阪がん免疫化学療法クリニック)

- R2-1 **腫瘍内リンパ球浸潤を誘導するテロメライシンと抗 PD-1 抗体を用いた新規複合免疫療法の開発** .................................63 金谷 信彦<sup>1)</sup>、黒田 信士<sup>1)</sup>、公文 剣斗<sup>1)</sup>、垣内 慶彦<sup>1)</sup>、菊地 覚次<sup>1)</sup>、西崎 正彦<sup>1)</sup>、浦田 泰生<sup>2)</sup>、田澤 大<sup>1)</sup>、香川 俊輔<sup>1)</sup>、藤原 俊義<sup>1)</sup>
  - 1) 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 消化器外科学
  - 2) オンコリスバイオファーマ株式会社
- - 1) 岡山大学医歯薬学総合研究科整形外科学
  - 2) 岡山大学医歯薬学総合研究科消化器外科学
  - ③ 岡山大学新医療研究開発センター
  - 4) 岡山大学運動器スポーツ医学講座
  - 5) 岡山大学運動器外傷学講座
  - 6 岡山大学運動器医療材料開発講座
  - " オンコリスバイオファーマ
- R2-3 **食道癌におけるがん細胞及びがん関連線維芽細胞に対する Dual-targeting Photoimmunotherapy**.................64 佐藤 浩明、野間 和広、河本 慧、鳴坂 徹、大原 利章、田澤 大、藤原 俊義 岡山大学 消化器外科
- - 1) 大阪大学大学院 医学系研究科 保健学専攻 分子病理学
  - 2) 大阪がん免疫化学療法クリニック
  - ③ 大阪がんクリニック
  - 4) 大阪大学大学院 医学系研究科 消化器外科学
  - 5) ルイ・パストゥール医学研究センター

#### 14:10-14:55 要望演題 3-1「免疫細胞療法・新規免疫療法(1)」

座長:吉野 茂文(山口大学医学部附属病院 腫瘍センター)

- R3-1-1 消化器固形癌患者における iPS 細胞由来樹状細胞 (iPSDC) を用いた新規ワクチン療法の基礎的検討.............65 田端 宏尭、尾島 敏康、岩本 博光、北谷 純也、出口 真彰、丸岡 慎平、中森 幹人、中村 公紀、勝田 将裕、早田 啓治、横山 省三、山上 裕機
  - 和歌山県立医科大学 第二外科
- - 1) 山口大学大学院 消化器·腫瘍外科学
  - 2) 山口大学医学部 先端がん治療開発学
  - ③ 山口大学附属病院 腫瘍センター
  - 4) 山口大学大学院 免疫学
  - 5) 川崎医科大学 消化器外科学
- - 1) 山口大学大学院 消化器・腫瘍外科学
  - 2) 山口大学医学部 先端がん治療開発学
  - ③ 山口大学附属病院 腫瘍センター
  - 4) 山口大学大学院 免疫学

	<ul> <li>卵巣癌腹水貯留患者における γδ 型 T 細胞製剤調製及び腹腔内投与試験の免疫モニタリング報告</li></ul>
	抗体薬の効果増強および耐性克服を目指した新たな免疫細胞療法の開発
15:00	D-15:45 要望演題 3-2「免疫細胞療法・新規免疫療法(2)」
	座長:辻谷 俊一(社会福祉法人 養和会 養和病院)
	PTPN3 を標的とした新規非抗体型免疫チェックポイント阻害剤の開発
	<b>TLR2 agonist であるキチンオリゴ糖経口投与による抗癌効果の臨床研究</b>
	担癌生体内で機能維持できる腫瘍特異的 CTL 免疫細胞療法68村田 聡¹.²、下地 みゆき²、Sihombing Michael²、北村 直美²、植木 智之²、小島 正継³、竹林 克士²、児玉 泰一²、生田 大二²、徳田 彩²、三宅 亨²、目片 英治³、谷 眞至²¹) 滋賀医科大学 医学部 附属病院2) 滋賀医科大学 医学部 外科学講座³) 滋賀医科大学 医学部 総合外科学講座
	コンジェニックマウスを用いた MC-38 由来 Tumor-infiltrating Lymphocyte(TIL) におけるレシピエント移植後 TIL の体内動態の検討
	担ガンマウスにおける電気融合法による腫瘍細胞と樹状細胞の融合細胞の抗腫瘍効果 69 大薗 三千代 <sup>1,3</sup> 、杉浦 真理子 <sup>2)</sup> 、柳井 伍一 <sup>3)</sup> 、楊 凱強 <sup>3)</sup> 、佐久間 貞俊 <sup>1)</sup> 、角 昭一郎 <sup>3)</sup> 1 細胞治療技術研究所 2 東京女子医科大学・早稲田大学共同大学院 共同先端生命医科学専攻 3 京都大学 ウイルス再生医科学研究所 臓器器官形成応用分野